

男性の家庭活躍応援事業【新潟市】

総事業費	689 千円
交付金額	344 千円

地域の実情と課題

- ・新潟市が実施した調査によると、女性が職業を持ち続けていくうえで課題になることとして、「家事や育児・介護との両立が難しい」と答えた人が多い。
- ・新潟市は18歳未満の子どものいる夫婦の共働き率が政令指定都市の中で最も高い。一方で、男性の家事育児時間は女性の1/4程度であり、女性により多くの負担がかかっている状況である。女性の職業生活での活躍推進のためには、男性の家事や育児・介護への参画が求められている。

事業の特徴

- ①家事や育児など男性の家庭への参画や女性の職業生活での活躍を促進することを目的に、WLBやキャリアデザインを考える大学生向けワークショップを開催
- ②育児休業を取得しやすい職場環境づくりを支援するため、市内事業所の経営者および管理職を対象にイクボス研修を開催

事業の効果

- ①ワークショップの満足度について、「とても参考になった」「参考になった」と回答した参加者が100%であった。また「実際に働いている方から、WLBについて聞くことができたり、アドバイスをいただけた」「ライフステージによって働き方を変えることも必要ということを学べた」などの意見があり、これから自分のキャリアや働き方を考える若年層への啓発ができたと考える。
- ②イクボス研修…研修の満足度について「満足」「まあまあ満足」と回答した参加者が94.7%であった。育児休業を取得しやすく働きやすい職場環境づくりに寄与できたと思われる。

目的・目標

- ・男性の家事・育児参画を促進し、2025年度までに男性の育児休業取得率30%を目指す。

連携団体

- ・新潟市WLB・女性活躍推進協議会

今後の課題

- ・新潟市WLB・女性活躍推進協議会の委員などから意見を聞き取り、企画と講座内容の検討が必要

事業の概要

1. 大学生向けワークショップ

■実施期間 令和5年9月20日

■場所 新潟県立大学

■参加者 12名

■内容

①パネルディスカッション

・ワーク・ライフ・バランス実践企業による多様な働き方紹介

②先輩トークセッション

・先輩たちのワーク・ライフ・バランス実践

③ワークショップ

・自分らしい働き方を考える

■参加者の感想

・実際に働いている方から、WLBについて聞くことができたり、アドバイスをいただいた。

・ライフステージによって働き方を変えることも必要ということを学べた。

・企業の休暇制度について知ることができたり、先輩方の意見を聞いて良かった。



2. イクボス研修

■実施期間 令和5年11月8日 12月15日 全2回

■場所 新潟市役所

■参加者 企業等の経営者・管理職 延べ33社 40人

■内容

①成果を出し、部下からも求められる今の時代のリーダーと組織づくり

②育児や介護に直面しても仕事が回る職場づくりと考え方

■参加者の感想

・世代の特徴、育児休暇のとり方、介護の問題、管理職のマネジメントの心得など、とても参考になりました。

・「社員の『他者への心遣いや共感、理解力』を醸成していこうと思いましたが」の問いに、40人中37人が「そう思った」と回答。